© 経済産業調査会 2018 Printed in Japan 日刊（土曜・日曜・休日休刊） 昭和36年6月30日第三種郵便物認可

特許ニュース®

平成30年5月23日（水）
No. 14693 1部370円（税込み）

発行所
一般財団法人 経済産業調査会
東京都中央区銀座2－8－9（木挽館銀座ビル）
郵便番号 104-0061
［電話］03-3535-3052 ［FAX］03-3567-4671
近畿本部 〒540-0012 大阪市中央区谷町1－7－4
（MF天満橋ビル8階）［電話］06-6941-8971
経済産業調査会ポータルサイト http://www.chosakai.or.jp/

特許ニュースは
●知的財産中心の法律、判決、行政および技術開発、技術予測等の専門情報紙です。

定期購読料 1カ年61,560円 6カ月32,400円（税込み・配送料実費）
本紙内容の全部又は一部の無断複写・複製・転載及び入力を禁じます（著作権法上の例外を除きます）。

目 次

☆未来自動車の特許出願動向
－米国と韓国の特許を中心に－ …………（1）
☆［春宵一刻］光のイリュージョン…………（9）

未来自動車の特許出願動向

－米国と韓国の特許を中心に－

（株）ウィプス 戦略マーケティングチーム チーム長
ビョン・ヨンジ

1．はじめに

最近、自動車業界はちょうど活性化しはじめた電気自動車などのエコカーと自律走行車の市場を誰が先に先占するかの話で盛り上がっている。特に電気自動車の場合、米国のテスラ（Tesla）が次々とニューモデルをリリースしたことで他の自動車メーカーもこの波に乗り、電気自動車の開発や量産に力を入れるようになった。もちろん、今年に入ってからテスラのモデルXの爆発事故などが知られ、一見テスラに危機が訪れたように見えるが、とにかくテスラは自動車市場にある変化をもたらした張本人であることには違いない。それは、他の自動車メーカーらも電気自動車市場における自社の影響力を奪うまいと素早い対応を見せていたことからも分かる。電気自動車の核心とも言えるバッテリーを製造するメーカーと戦略的な提携を結んだなどの話もこのような

すべてはクライアントのために All for Our Clients
住友特許事務所
所長 弁理士 住友 慎太郎※ 弁理士 石原 幸信
弁理士 浦 重剛 弁理士 市田 哲
弁理士 苗村 潤※ （※特定侵害訴訟代理可）
〒532-0011 大阪市淀川区西中島6丁目1番1号 新大阪プライムタワー20F
TEL（06）6302-1177（代） FAX（06）6308-4126
E-mail：info@sumi-pat.com（代表） URL：http://www.sumi-pat.com

対応の一つの例である。

一方、グーグル、アップルなどのIT企業らも次から次へ自動車市場への進出を知らせている。自律走行車の試運転のニュースや映像をしばしば見ることができる。実際、ごく最近までも自動車分野は巨大な投資と研究開発が要求されるため、新規の企業が参入することはとても難しいハイテック産業として知られていた。だからこそ、従来の企業を脅かすほどの新たなプレーヤーが現われるとは思ってもいなかった。しかし、その偏見までも破るかのように巨大なIT企業を中心に続々と自動車市場への参入を知らせている。

20年後、我々はどんな交通体系の中で生活するのであろうか。一名、グーグルカーやアップルカーと呼ばれる自律走行車を乗っているのであろうか。確言はできないが、今自動車業界で繰り広げられている競争は今後の自動車市場に大きな変化をもたらすに違いない。

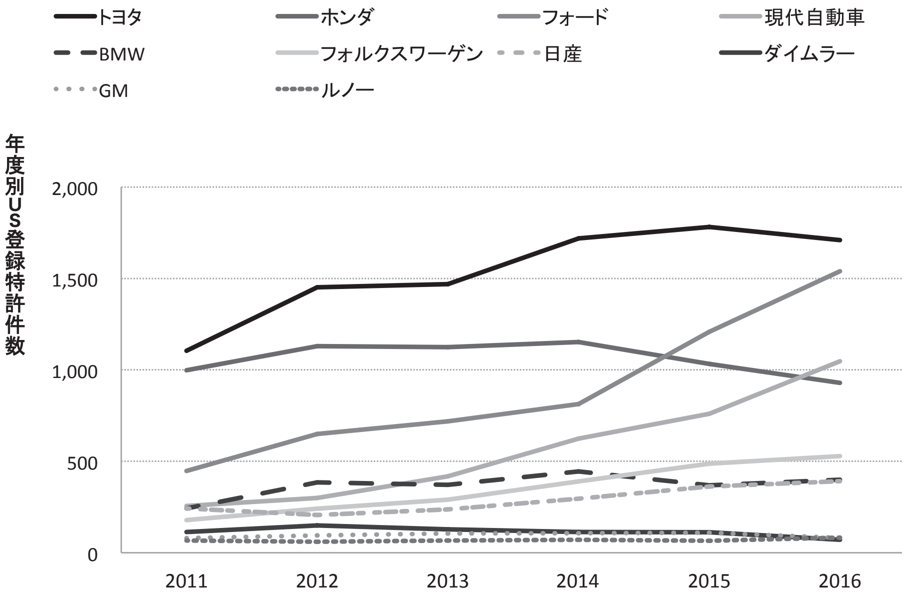
本稿では、まず、今の自動車市場を率いている企業らがどのような方向で技術権利を獲得しているかを調べてみる。そのため、（株）WIPSのWINTELIPSという検索ソリューションを使い、2010年から2016年まで去る６年間において売上げトップ10に入るグローバル自動車企業が持つ登録特許を分析することにする。それから、米国と韓国に出願されている自律走行関連の特許を分析することによってどのような方向へ技術開発が進められているかを覗き見る。その中で新たなプレーヤーとして浮上している企業がいるのであれば、いくつか紹介していきたいと思う。

2. トップ10自動車企業の特許出願

トップ10自動車企業であるトヨタ、ホンダ、フォード、現代自動車、BMW、フォルクスワーゲン、日産、ダイムラー、GM、ルノーが占める世界市場シェアはなんと66パーセントに上る。だからこれらのトップ10自動車企業の特許を見ると今後の自動車業界におけるビジネス方向を多少とも把握できるであろう。

2011年から2016年まで去る６年間においてこれらの企業が米国において登録した特許の数は大よそ32,000件で、年平均10％ほど増加していた。このうち、ホンダ、BMW、ダイムラーの登録特許は減少したが、フォード、現代自動車の場合は大きく増加していることが分かった。

トップ10自動車企業が保有している特許の主な技術分野は、燃料電池（H01M）、ハイブリッドカー（B60W）、電気自動車（B60L）などエコカー技術と



資料：筆者作成による

［図１］トップ10自動車企業の米国登録特許の現況